

銀座ミツバチ大活躍



銀座のビルの屋上に設置された巣箱。都心の公園や街路樹からミツバチが蜜を運んでくる(中央区で)

5～6月に雨少なく……

12年目で最高1.6トン収穫

銀座のビルの屋上で養蜂を行うプロジェクトが今年で12年目を迎え、過去最高の約1.6トンのハチミツが収穫された。今年はミツバチの活動が盛んになる5～6月に雨が少なく、日比谷公園など周辺の緑地から多くの蜜が運ばれてきたためだ。収穫したハチミツを使ったスイーツなども好評で、プロジェクトのスタッフらは「大都会に思づく自然」の力に手応えを感じている。

銀座で働く人たちが集まり、養蜂に挑戦する「銀座ミツバチプロジェクト」が始まったのは2006年。現在は銀座の3か所のビル屋上にある養蜂場で、それぞれ最大20万～30万匹のセイヨウミツバチを飼う。ハチミツの収穫量は、06年は150キログラムだったが、10年には800キログラムを超え、13年には1トンを超えた。ミツバチの活動は多くの花が咲く5

都会の養蜂広がる

都会の小さなスペースを活用し、コソコソとハチミツ作りを続ける都市養蜂は、各地で広がっている。目黒区の自由が丘商店街では、2009年から養蜂プロジェクトをスタート。駅近くのビル屋上で飼育する約10万匹のミツバチが、ソメイヨシノやバラなどの蜜を集める。今年の収穫は過去最高の1.2トンを上回る見通しだ。地元の菓子店では、このハチミツを使ったシュークリームなどを販売しており、同商店街振興組合の中山雄次郎事務長(46)は「屋

江東区の周辺でミツバチが集めたハチミツ(江東区ハニー・プロジェクト提供)



上の広さに限りがあり増産は難しいが、生産を続け、

地域の緑化にも貢献したい」と話している。洋菓子メーカー「コロンバン」でも、10年から渋谷区の原宿本店の屋上で養蜂を実施。同店の喫茶スペースでは、収穫したハチミツをかけたホットケーキなどが楽しめる。同社の広報担当者は「このスイーツで、東京の環境保全に関心を持ってもらえれば」と語る。江東区では、15年度から区が庁舎屋上で養蜂を行ってきた。今年4月から区職員や住民らでつくるNPO法人が主体となっている。収穫したハチミツは区役所で10月5、6日に500円(500円で販売される予定)だ。

三沢厚彦 Animal 2010-05 (撮影) 大島拓世 Takuya (Osuna)



【問い合わせ】同美術館(03:3465-9421) 主催||渋谷区立松濤美術館 読売新聞社 美術館連絡協議会 協賛||ライオン、大日本印刷、損保ジャパン日本興亜、日本テレビ放送網

謎の館 彫刻家・三沢厚彦(1961年生まれ)が樟の丸太から彫りだした実物大の動物作品を紹介。三沢と親交の深い舟越桂ら4人の作家の作品も集結し、新たな世界を生み出します。会期中は作家による様々なイベントが開催されます。【会期】10月7日(土)～11月26日(日)、10月9日を除く月曜と10月10日休館 【会場】渋谷区立松濤美術館 【観覧料】一般500円、大学生400円、高校生250円、小中生100円

読売新聞社見学(28日) 府中別館 日の出町立天久野小(5年引率・池田貴博副校長ら56人)

雨も多いが、今年も少雨で、収穫量は過去最高の1.647キログラムに上った。「今年はミツバチの入手が難しく、シーズン初めはどうなるかと思ったが、よく働いてくれた」と、プロジェクトの養蜂担当者・山本なお子さん(43)は言う。ミツバチは4キログラムほど飛べるという、皇居や日比谷公園、浜離宮恩賜庭園の花々のほか、ユリノキなどの街路樹の花も好物だという。

年齢や経験を問わず初心者でも気軽に楽しめるスポットを広めようと、都は10年

「指導者講習」などの分野に分かれ、各競技団体の担当者らが指導にあたる。参加希望者は、同13日までに一般社団法人「都レクリエーション協会」の専用ホームページに申し込む。

【おすすめ講座】 ◆かなと実用書道 初心者の方はまず毛筆で直線、曲線の書き方からスタートします。漢字、かな・実用的な書に

ごかわらず、毛筆に慣れ親しむ指導をします。講師は小島寿さん(読売書法会理事・審査員)。第1・3火曜15時30分。◆大江戸グルメ

話題などを訪ね、昼食や能。さらに1日1万旧跡、名所をたずね

8組16名様を無料で招待!! 福田こうへい コンサートツアー2017 ~全身全霊~ 11月1日(水) (2回目公演) 開演17:30 練馬文化センター 10/6 応募締切 消印有効 必要事項(氏名・住所・電話番号)を明記の上、郵便ハガキにてご応募ください。 ※お一人様につき1通限り応募有効。 応募方法

桐 たんす 四谷本店に130棹展示中 筆筒の 大木

高く買います! カメラ専門店 買取査定 発送は